

LIBERAL&DEMOCRATIC

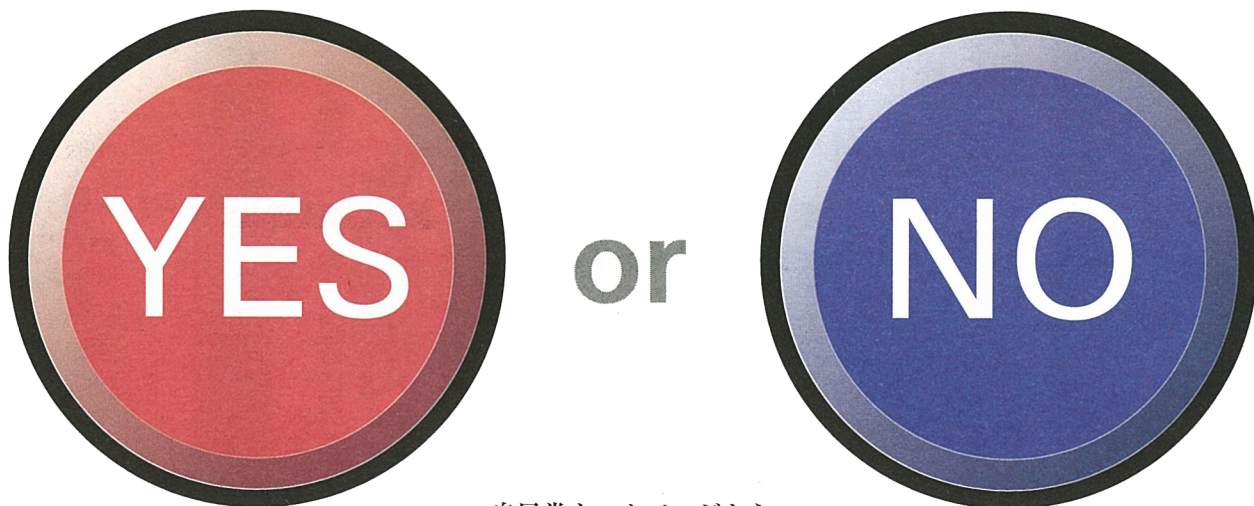
自由民主

発行所
自由民主党本部
郵便番号 100-8910
東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京 03(3581)6211(代表)
定価 1部 105円(税込み)
<毎週火曜日発行>



自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

Q. 政権奪還には発信力強化が必要だ。



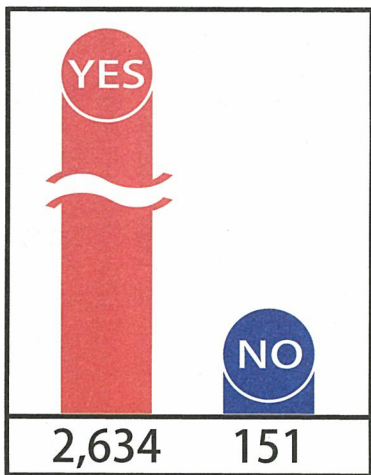
自民党ホームページから

投票

www.jimin.jp

前号の結果 投票総数 **2,785 票**

Q. 新体制で一日も早く政権奪還すべきだ。



Yes or No-Voice



新役員が決まり谷垣執行部が再スタートを切ったことを受け、前号は「新体制で一日も早く政権奪還すべきだ。」と質問しました。結果はYesが圧倒的に占め、わが党の政権奪還への期待の大きさが明らかとなりました。コメントでは、政策が二転三転する野田政権への批判が数多く寄せられました。また、わが党に対して「使命感を持って奮闘してほしい」など、激励の声が相次ぎました。

谷垣総裁 「民主党政策は限界にきている」

新メンバーによるシャドウ・キャビネットの初会合で民主党政権打倒への決意を表明する谷垣禎一総裁



役員改選に伴い新メンバーによるシャドウ・キャビネット(SC)の初会合が10月14日、開かれた。官房長官には茂木敏充政務調査会長が就任。政調の各部長を各大臣に任命した。また、逢沢一郎総裁特別補佐を総理首席補佐官とし、政調事務局長の加藤勝信、政調会長補佐の赤澤亮正、同・齋藤健の3衆院議員が総

党理念に基づくと政策打ち出す

新メンバーによるシャドウ・キャビネット 初会合

理補佐官として谷垣禎一総裁を支える体制を整えた。谷垣総裁はいささつで「民主党政策は『分配』のことは言うが、わが国のどこに優位性を求めて国を引っ張っていくかという発想がない」と述べ、成長戦略を欠いた民主党政策が限界にきていると指摘。わが国が直面する課題を乗り越えるためには、わが党理念に基づいた政策が必要との認識を強調した。

新綱領では、わが党は政策の基本的な考え方として「自助自立する個人の尊重と共助・公助の仕組みの充実」「秩序ある市場経済の確立」「地域社会と家族の絆の再生」などを掲げている。

内閣総理大臣	谷垣 禎一
内閣官房	茂木 敏充
総務省	平井 たくや
法務省	柴山 昌彦
外務省(沖縄及び北方対策担当)	小野寺 五典
財務省	西村 康稔
文部科学省	下村 博文
厚生労働省	宮沢 洋一(参)
農林水産省	農林 山田 俊一(参)
	水産 牧野 たかお(参)
経済産業省	菅 原 秀夫
国土交通省	望 月 義正
環境省	吉 野 芳寛
防衛省	今 津 寛
国家公安委員会	
内閣府	竹本 直一
拉致問題・経済財政・金融・行革・公務員制度改革・地方分権担当	
内閣府 防災担当	長島 忠美
内閣府 少子化対策・男女共同参画・消費者・食品安全担当	山谷 えり子(参)
内閣官房副長官	中林 元正(参)
内閣総理大臣首席補佐官	逢沢 一郎 信正健
内閣総理大臣補佐官	加藤 勝亮
	赤澤 亮
	齋藤 健

自民党はこう考える

Q. 政権奪還には発信力強化が必要だ。

岸田文雄国対委員長に聞く

わが党が政権奪還を果たすためには、主戦場となる国会で政府・与党を追い込んでいかなければならない。今回の党役員改選で、その戦いの最前線に立つ国会对策委員長に、岸田文雄衆院議員が就任した。わが党は、政府・与党とどう対峙していくのか。「政府・与党が国民の信頼に答えられないなら、解散・総選挙に追い込む」と決意を述べる岸田国対委員長に聞いた。

解散・総選挙に追い込み政権奪還果たす

野党国対の果たすべき役割をどう考えられますか。
岸田文雄国会对策委員長 われわれは、政府が国民のために十分に働いていなければ、しっかりとたたきつけていかなければなりません。東日本大震災の復旧・復興、急激な円高などの国難のなかで、野党は、政府・与党の足を引っ張っているとの声があります。しかし、わが党は、復旧支援については、議員立法を提出し、政府・与党をリードし、全面的に協力してきました。政治に求められるのは、国難に対応する政策を前進させることです。国民の期待に応えられない政府・与



岸田文雄国対委員長

わが党をアピールする機会をつくる

岸田 平成23年度第3次補正予算、関連法案が大きなテーマとなりますが、その前に、先の臨時国会で積み残しとなった課題が山積しています。先の国会では、当初民主党は、会期を4日間で強行に閉じようとしてしま

した。その後、国民の批判を受け、14日間延長したものの、所信表明演説に対する代表質問、衆参両院の予算委員会の質疑にとま

ついで、このため、常任委員会での新閣僚の所信と質疑のほか、二重ローン救済法案、私立学校建物特別助成措置法案など震災対策関連法案の処理が残っています。また、わが党が要求した民主党政権に絡む「政治とカネ」の問題についての予算委員会での集中審議を実現しなければなりません。これらの課題は、3次補正に先行して、前進させていきます。わが党は3次補正にどう対応していきますか。

岸田 わが党は、3次補正には前向きに対応する方針です。現在、わが党、公明、民主の3党の政策責任者による協議が行われています。そのなかで、政府・与党の方針を聞き、わが党の考えを述べることはあっても構わないと思っています。ただ、3党協議で結論を出してから、国会で議論することは、国会軽視であり、国会の形骸化につながります。具体的な予算修正は、国会提出後、国会の場で行うのがあるべき姿だと考えています。

岸田 わが党は、野党6党は、小沢元代表の証人喚問を求めています。引き続き、国会での説明責任を果たすための環境整備に取り組みます。小沢元代表は、三権分立を盾に、国会の証人喚問が司法に影響を与え

るとして、証人喚問を拒否してしま

す。しかし逆に、司法への影響を気にするあまり、立法府が国民に対する説明責任を放棄したならば、三権分立に影響を与えるのではないのでしょうか。立法府は、国民の疑念に答え、政治の信頼回復に努力していかねばなりません。

解散・総選挙に向け、政府・与党とどう対峙していきますか。岸田 3次補正成立後は、野党として政府・与党と対峙していかねばなりません。ただし、われわれが、いくら拳を振り上げ、解散・総選挙を叫んでも、国民の理解を得られなければ、「独り相撲」になってしまいます。

解散・総選挙への道筋として、3次補正の議論を通じ、わが党の基本的考えや、民主党との違いを訴え、国民に理解してもらうことが重要です。こうした議論を積み重ね、政府・与党が、国民の信頼に答えられないとなれば、解散・総選挙に追い込み、政権奪還につなげていかなければなりません。

わが党が政権奪還を果たすには、今が必要ですか。岸田 政権与党時代と比べ、国民へのアピール、発信の場が限られていることを痛感しています。野党の主戦場は国会です。しかし、国会が閉じられていけば、野党の発信は限られます。まず、国対委員長として、政府・与党に対し、国会を開かせ、わが党をアピールするための機会をつくる必要があります。そして、限られたチャンスを活用し、わが党の思いを国民に伝えていかなければなりません。政権交代から3年目となり、わが党にとっては、大きな勝負に臨む1年となります。国対の立場からも、より工夫をしながら発信力を強化していきます。

新しく決まった党役員

(10月14日)

- ▽幹事長代理 伊達忠一
- ▽副幹事長 中村博彦 水落敏栄
- ▽人事局長 岡田広
- ▽財務委員会委員 梶山弘志 金子一義
- ▽望月義夫、山口俊一
- ▽組織運動本部
- ▽団体総局長 田中和徳
- ▽地方組織・議員総局長 河井克行
- ▽女性局長 島尻安伊子
- ▽青年局長 小泉進次郎
- ▽労政局長 長勢甚遠
- ▽遊説局長 松浪健太
- ▽広報本部
- ▽本部長代理 高市早苗、有村治子
- ▽副本部長 平井たかや、松野博一、関口昌一
- ▽広報戦略局長 松野博一
- ▽ネットメディア局長 平井たかや
- ▽新聞出版局長 関口昌一
- ▽国会对策委員会副委員長 世耕弘成、愛知治郎
- ▽両院議員総会
- ▽会長 松村龍二
- ▽副会長 大野功統、岸宏一
- ▽政務調査会
- ▽会長代理 中谷元、林芳正
- ▽副会長 谷畑孝、宮腰光寛、梶山弘志
- ▽石田真敏、中川雅治、佐藤信秋
- ▽内閣部会長 竹本直一
- ▽専任部会長 長島忠美、山谷えり子
- ▽国防部会長 今津寛
- ▽総務部会長 平井たかや
- ▽法務部会長 柴山昌彦
- ▽外交部会長 小野寺五典
- ▽財務金融部会長 西村康稔
- ▽文部科学部会長 下村博文
- ▽厚生労働部会長 宮沢洋一
- ▽農林部会長 山田俊男
- ▽水産部会長 牧野たかお
- ▽経済産業部会長 菅原一秀
- ▽国土交通部会長 望月義夫
- ▽環境部会長 吉野正芳
- ▽税制調査会長 野田毅
- ▽選挙制度調査会長 村田吉隆
- ▽経済政策調査会長 村上誠一郎
- ▽地域再生調査会長 村上誠一郎
- ▽石油等資源・エネルギー調査会長 甘利明
- ▽電源立地及び原子力等調査会長 細田博之
- ▽住宅土地調査会長 佐田玄一郎
- ▽林政調査会長 中谷元
- ▽整備新幹線等鉄道調査会長 長勢甚遠
- ▽科学技術創造立国調査会長 中川秀直
- ▽消費者問題調査会長 野田聖子
- ▽スポーツ立国調査会長 遠藤利明
- ▽治安対策特別委員長 村田吉隆
- ▽災害対策特別委員長 谷公一
- ▽過疎対策特別委員長 山口俊一
- ▽拉致問題対策特別委員長 古屋圭司
- ▽たばこ特別委員長 村田吉隆
- ▽宇宙・海洋開発特別委員長 河村建夫
- ▽海運・造船対策特別委員長 村上誠一郎
- ▽奄美振興特別委員長 森山裕
- ▽山村振興特別委員長 中谷元
- ▽離島振興特別委員長 武部勤
- ▽IT戦略特別委員長 平井たかや
- ▽磁気浮上式鉄道に関する特別委員長 古屋圭司
- ▽漂流・漂着物対策特別委員長 加藤紘一
- ▽障害者特別委員長 衛藤嚴一
- ▽こどもHAPPYプロジェクト特別委員長 小淵優子
- ▽沖縄振興に関する特別委員長 川口順子
- ▽(新設・改編)
- ▽外交・経済連携調査会長 高村正彦
- ▽安全保障調査会長 石破茂
- ▽国土強靱化総合調査会長 二階俊博
- ▽総合農政・貿易調査会長 加藤紘一
- ▽経済・財政・金融政策調査会長 甘利明
- ▽雇用問題調査会長 長勢甚遠
- ▽環境・温暖化対策調査会長 鴨下一郎
- ▽党紀委員会委員長 山東昭子
- ▽中央政治大学院
- ▽副学院長 井上信治、古川禎久、松浪健太、稲田朋美、山谷えり子、石井みどり、丸川珠代